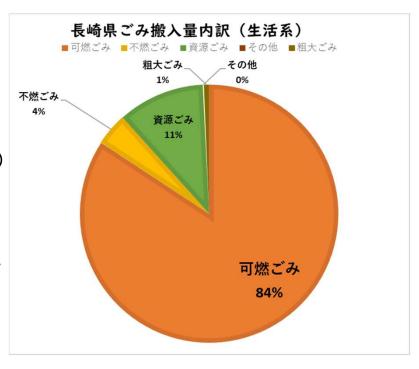
生ごみひと絞りで めざそうごみ減量!!



- ●知っていますか?長崎県のI人一日あたりのごみ排出量
 - ・令和5年度1人一日あたりのごみ排出量は「950g」
 - ・全国より「79g」多い
- 令和5年度ごみ搬入量内訳
 - ・搬入量合計428トン中、約6割が生活系ごみ(約256トン)
 - ・その中で、約8割が可燃ごみ(約215トン)
 - ・厨芥類(家庭や事業所等で発生する生ごみ)や紙類が多い
- 生ごみの約80%は水分です



水切りを一度することで、5~10%ものごみの重量を減らし、ごみ処理費用や地球温暖化の原因となる CO2排出量を削減できることが期待されます

(参照)令和6年度一般廃棄物処理事業実態調査(令和5年度実績)

令和7年度事業スケジュール



●令和7年度(予定):

4月:廃棄物対策連絡協議会において市町への協力依頼

5月:ながさき環境県民会議4R部会委員への協力依頼 市町への実証実験希望調査

6月(環境月間)

:ながさき環境県民会議4R部会(第1回)での意見交換

:県全世帯広報誌やSNSを通じて県民への周知

8月:ながさき環境県民会議総会及び表彰式 ながさき環境県民会議全体での実施について承認

IO月: (3R推進月間)

ながさき環境県民会議全体において実施 県全世帯広報誌・市町村広報誌、SNSを通じて県民への周知

生ごみひとしぼり3つのコツ

その 1. 生ごみはぬらさない

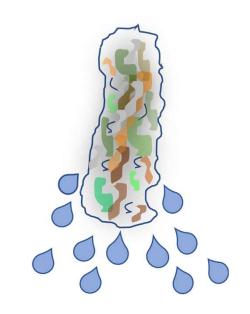
乾いた食材の調理くずは、ぬれないまま捨 てよう

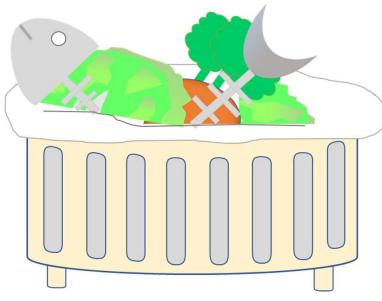
その2. 捨てる前にしぼる

麦茶の水出しパック、出汁パックも捨てる前にしぼる(ゴム手袋や生ごみ絞り器具、代用品でも)

その3. かわかす

野菜や果物の皮は、新聞紙やチラシ等の上 で乾かし、小さくして捨てる







その1. 生ごみはぬらさない

まずは、水にぬらさない!

野菜や果物を洗う前に、ヘタなどの使えない部分は、最初に切り落としから洗うようにしましょう。

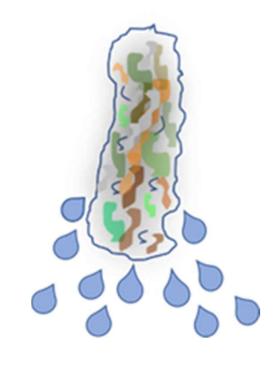
生ごみ入れが1つだけだと、乾いた調理くずまでぬれてしまうので、乾いた調理くず用の入れ物を用意しましょう。

その2. 捨てる前にしぼる

ごみ袋・ごみ箱に入れる前に生ごみの水分をしぼりましょう!

様々な種類のグッズも販売されていますが、ゴミ手袋をつけたまま、生ごみをしぼることでも水分はしぼれます。

自宅にあるものから手作りした道 具でも、生ごみの水分をしぼることが できます。



生ごみ絞り器具











その3.かわかす

01

野菜や果物の皮は、 乾かすと水分が抜け て小さく、軽くなりま す。 02

臭いが気にならない 食材は、空きトレーや 新聞紙、チラシなど の上で切ってから、 乾かしましょう。 03

お茶パック、出汁パック、ティーパックなども水分を絞った後、更に乾かすと臭いも緩和され、軽くなります。



得られるメリット

- ~ | 人ひとりのライフスタイルに~
- ●生ごみの約8割が水。 "ぎゅっ"とすれば、ごみが軽くなり、ごみ出し時のストレスが減る「1度の水切りで5~10%の量が軽減!」
- ●汁気が少なくなり、ゴミの臭いが緩和される 「床などに汁が垂れなくなった」 「夏場のシンクの悪臭が減った」

~環境面~

●生ごみの水分が少なくなると、ごみ焼却の効率が 上がり、ごみ焼却費用の軽減が期待できる



番外編 ~コンポストの活用~

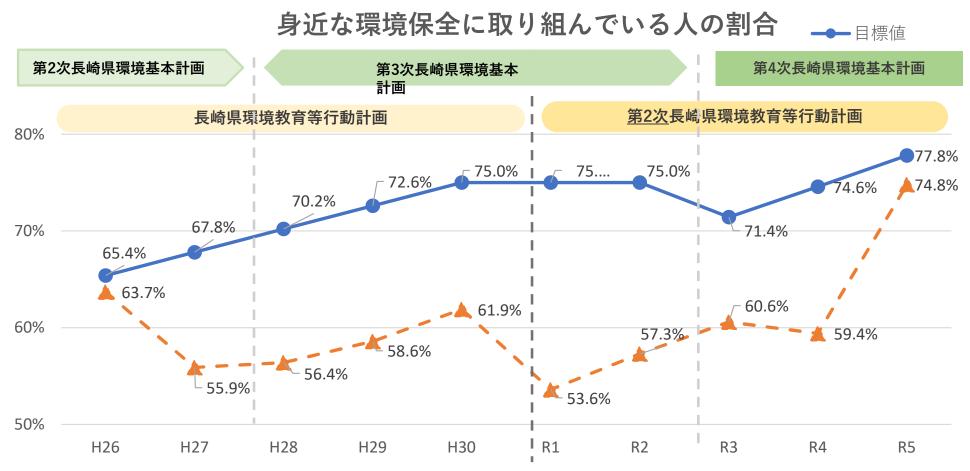
生ごみひとしぼりの次はコンポストに挑戦してみましょう!

お住まいの自治体で、コンポストの購入補助を実施している場合がありますので、自治体の環境政策課HP等でご確認ください。

※コンポスト:生ごみ処理容器

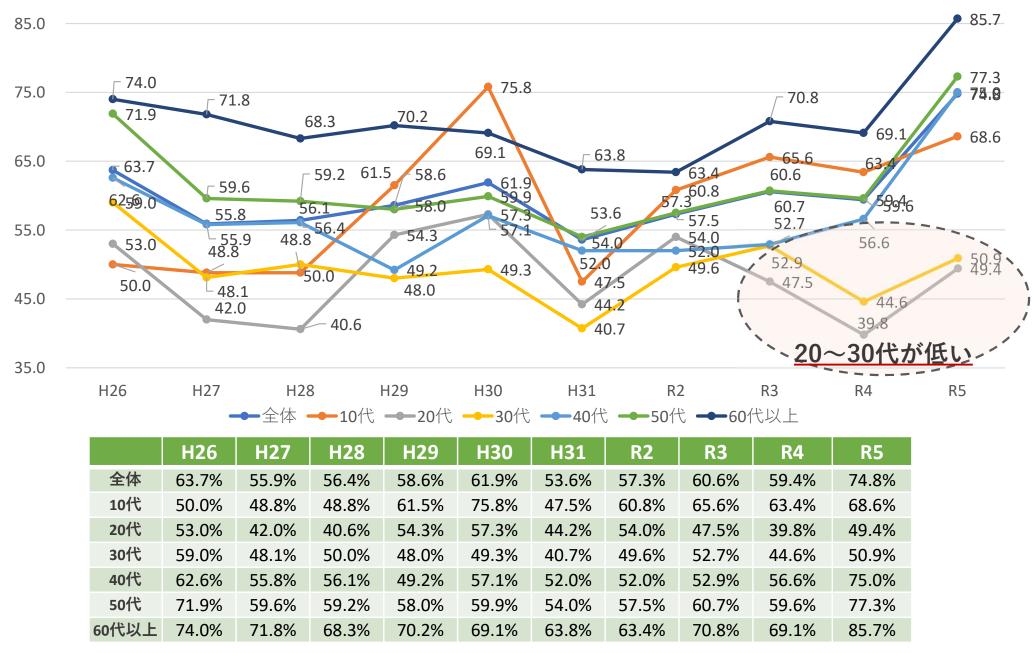


(参考資料) 身近な環境保全に取り組んでいる人の割合



	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
取り組んでいる	63.7%	55.9%	56.4%	58.6%	61.9%	53.6%	57.3%	60.6%	59.4%	74.8%
取り組んでいない	36.3%	44.1%	43.7%	41.4%	38.2%	46.4%	42.7%	39.4%	40.6%	25.2%

年代別割合



(参照) 県民意識アンケート調査

取り組んでいない理由《年代別(H29~R5平均)》



【年代傾向】

10~40代:時間がない

30~60代:どうしていいかわからない 20~50代:関心がない